

小坂田公園整備と市民プール跡地の活用



新国会
あかはね
赤羽

せいじ
誠治

その他の質問事項

- ▼ 産廃処理場及び廃品回収品置場の安全管理
- ▼ 市道の街路樹及び植込み等の樹木管理

◆防災・減災の強化

問 塩尻市災害ハザードマップと国の5段階警戒レベル表示との対応は。

答 市のハザードマップには警戒レベル表示が無いが、防災無線や緊急メーリングサービス等で避難情報を発令する際は、国の警戒レベルと合わせて情報伝達をしていく。今後、広報やホームページへの掲載や各区での説明会を開催し、具体的な説明をしていく。

◆避難情報や災害警戒情報の発令時に、一目で判断や行動ができるガイド表を作成したらどうか。

答 避難情報等が発令されたときに行動が理解でき、見やすい所へ貼って利用できる一覧表を作成し、全戸配布していく。

◆塩尻駅前の駐輪場整備

問 塩尻駅前の北側駐輪場への屋根設置の考えは。

答 公園の設置方針で視界を遮らないよう景観を

大切にしたいが、屋根は設置していないが、今後、必要性について、費用対効果や維持管理費などを含めて検討していく。

◆市民プール跡地の有効活用

問 市民プールは閉鎖して4年になるが、跡地の活用策の検討状況は。

答 昨年3月に民間から提案を募るサウンディング型市場調査を実施。キャンプ場、温浴施設への転換などの提案があった。今後は、施設の一部無料化を含めた存続、廃止などを検討し、小坂田公園全体の整備計画案を9月以降に提示する。



小坂田公園

市民福祉の更なる向上を目指して



新国会
ひぐち ちよこ
樋口千代子

その他の質問事項

- ▼ 認知症疾患医療センターの役割について
- ▼ 妊産婦のメンタルヘルスの取組について

◆認知症対策の推進

問 高齢になるにつれてだれもが認知機能の低下が起こりうるわけであるが本市の認知症予防対策の推進と新オレンジプランの取組状況は。

答 本市の認知症予防対策として、ホームページから利用できる認知症チェックサイトやファイブログ検査を導入している。認知症チェックサイトは月約300件の利用がある。新オレンジプラン取組としては、「認知症初期集中支援チーム」「認知症サポーター養成講座」「認知症地域支援推進員」事業を実施している。

◆運転免許証返納者への日常生活支援

問 高齢者の方が返納しない理由、返せない理由の多くは、医療機関受診と買い物への心配である。地域振興バス無料券配布窓口が都市計画課であるが、初回から継続した生

活支援をしていくためには地域包括支援センターと考えるがいかがか。



中农信運転免許センター

答 現在は高齢者の交通事故防止対策の観点から都市計画課が担当。運転免許証返納後の生活支援は関係部局と連携を図ることが大切なので、市民にとってよりよい支援体制の充実が図れるよう、担当部署も含め検討していく。

問 「お助けネットかたおか」をモデル地区として生活支援コーディネーター配置の検討を。

答 庁内で地域づくりのための組織を作り研究していく。

要望 圏域コーディネーターの関わり強化を。